

北陸新幹線のあゆみ

年 月	主 な で き ご と
昭和42年12月	北回り新幹線建設促進同盟会結成(昭和47年7月北陸新幹線建設促進同盟会に名称変更)
昭和45年5月	全国新幹線鉄道整備法公布
昭和47年6月	基本計画決定
昭和48年11月	整備計画決定及び建設の指示
昭和57年3月	高崎・小松間環境影響評価実施のための駅・ルート概要公表
昭和60年1月	小松・芦原温泉間環境影響評価実施のための駅・ルート概要公表
昭和60年12月	高崎・小松間環境影響評価
〃	高崎・小松間の工事実施計画認可申請
昭和61年3月	長野・富山及び金沢の三駅において北陸新幹線駅周辺環境整備事業着手
昭和62年2月	芦原温泉・南越間環境影響評価実施のための駅・ルート概要公表
昭和63年8月	政府・与党申合せ(着工優先区間などを決定)
平成元年6月	高崎・軽井沢間認可(フル規格)
平成元年8月	高崎・軽井沢間着工(フル規格)
平成2年12月	政府・与党申合せ(着工条件として並行在来線の経営分離などを決定)
平成3年8月	軽井沢・長野間認可(フル規格)
平成3年9月	軽井沢・長野間着工(フル規格)
平成4年7月	新高岡・金沢間環境影響評価
平成4年8月	石動・金沢間認可及び着工(スーパー特急方式)
平成5年9月	糸魚川・魚津間認可(スーパー特急方式)
平成5年10月	糸魚川・魚津間着工(スーパー特急方式)
平成7年4月	北陸新幹線富山駅整備調整事業認可
平成7年5月	北陸新幹線富山駅整備調整事業起工
平成8年3月	南越・敦賀間環境影響評価実施のための駅・ルート概要公表
〃	小松・南越間の工事実施計画認可申請
平成8年12月	政府・与党合意(新たな財源スキーム、新規着工区間など決定)
平成9年5月	全国新幹線鉄道整備法改正(財源スキームの見直し)
平成9年10月	高崎・長野間開業
平成10年1月	政府・与党整備新幹線検討委員会検討結果公表(新規着工区間の優先順位の決定など)
平成10年3月	長野・上越間認可及び着工(フル規格)
平成11年12月	与党合意(長野・南越間を十数年でフル規格で整備することなど)
平成12年12月	政府・与党申合せ(長野・富山間をフル規格で整備し、概ね12年強後の完成を目指すことなど)
平成13年4月	上越・富山間認可(フル規格)
平成13年5月	上越・富山間着工(フル規格)
平成14年1月	南越・敦賀間環境影響評価
平成16年12月	政府・与党申合せによる新たな財源スキーム(既設新幹線譲渡収入の前倒し活用等)及び着工区間の決定(富山・金沢車両基地間、福井駅部等)
平成17年4月	富山・金沢間(フル規格)、福井駅部認可
平成17年6月	富山・金沢間(フル規格)、福井駅部着工
平成17年12月	南越・敦賀間の工事実施計画認可申請
平成18年4月	白山総合車両基地認可
平成21年2月	福井駅部完成
平成23年12月	政府・与党確認事項(着工5条件を満たしたこと等を確認後、金沢・敦賀間の認可・着工を行うことを決定)
平成24年3月	長野・金沢間の工事実施計画変更認可
平成24年6月	金沢・敦賀間の認可(フル規格)
平成24年8月	金沢・敦賀間の着工(フル規格)
平成27年1月	政府・与党申合せ(金沢・敦賀間の完成・開業時期を3年前倒し、平成34年度末の完成・開業を目指すことなどを決定)
平成27年3月	長野・金沢間開業
平成28年12月	与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおいて敦賀・大阪間のルートが小浜京都ルートに決定
平成29年3月	与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおいて京都―新大阪間のルートが南回りルート(京田辺市(松井山手)附近経由)に決定
平成31年3月	金沢・敦賀間の工事実施計画変更認可
令和元年5月	敦賀・新大阪間環境影響評価実施のための駅・ルート概要公表
令和2年12月	国土交通省「北陸新幹線の取扱いについて」(令和5年度末の敦賀開業に向けて最大限努力する、敦賀・新大阪間の着工5条件の早期解決を図るなど)
令和4年12月	国土交通省「北陸新幹線(敦賀・新大阪間)の取扱いについて」(「北陸新幹線事業推進調査」の計上、一日も早い全線開業を実現するなど)
令和6年3月	金沢・敦賀間開業
令和6年12月	北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会が「北陸新幹線(敦賀・新大阪間)の取扱いに関する中間報告」を与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームに報告
令和7年3月	京都府域の自治体を対象に国交省及び鉄道・運輸機構が説明会を開催し、施工上の課題等を説明
令和7年12月	北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会がルート8案を再検証し、JRや沿線自治体からヒアリングを実施することを決定